TOKACHI TOYAMA FARM

土の香り

「食卓に笑顔の種を届けたい。」

No.25　2012年 秋

ホームページ
www.toyama-nojo.net

お電話、FAXでのご注文・お問合せ
電話＆ファックス　0155-60-2110

編集発行:とやま農場　〒080-2106　北海道帯広市美栄町西6線128番地　　携帯　090-1648-2100

ペイ・フォワード　～おかげさまの想いをかたちに～

外山聖子

亡き夫はアメリカで、私は瀬棚町の牧場で農業実習生として、また長男隆祥は高校時代にAFS留学生としてそれぞれに過ごした経験があります。お世話になった方々へのご恩返しの想いで、結婚以来中高生や海外の方々を受け入れた人は、すでに１００名を越えました。出会いに感謝し、関わりを楽しみつつ　ここに居ながらにして都会や地方、海外の様子を知ることができるばかりでなく、客観的に家庭教育について学ぶ機会にもなり、子育てに活かせたようにも思います。

息子たちの高校時代には、交通の便が悪く下宿や寮生活を余儀なくされましたが、農繁期終盤のこれからなら何とか送迎できるかもとダニエル君を受け入れ、小さな国際親善＆国際理解をしていました。人類皆兄弟の思いは世界平和の基と言えます。国内＆国外紛争に翻弄される人々のあることを覚える時、ペイ・フォワード“いただいたご恩を今度は自分も”～人から人へ繋がって愛あふれる平和な世界を願っています。

農場体感！はちミーツー(２)を開催しました。

６月１７日(日）黄色に咲き誇る菜種の花を観賞しながら農業＆農場を体感してもらえたらと昨年に続き、イベントを企画しました。

あいにくの雨の中ではありましたが、第９回アースカフェとの併催で十勝管内を中心に全道各地、遠くは取材のため東京から参加者＆スタッフ約４０名が集い開催されました。

じゃが芋の貯蔵庫でのスライド上映(各種作物や農場紹介等）や我が家の畑を歩きながら各種作物について学ぶ「畑散策ツアー」と菜の花畑観賞

（雨のため急遽アースカフェのバスをお借りして行いました。）

また、関連会社様のご協力により、十勝養蜂園・斉藤氏の菜種蜂蜜の採蜜体験や試食、エコERC・為広氏の菜種の搾油実演を行いました。

お昼には、次男剛士が中心となって農場の産物をふんだんに使った昼食を囲み交流を深めました。

ランチメニュー：ドカ盛りサラダと５種のドレッシング。野菜スープ。豆とマッシュのキーマカレー。白小豆ジュース。香ばし小麦のばりばりチョコ。黒豆茶などなど。。。

参加者の声：始めての体験ばかりでとても楽しかった。できたてのはちみつ、大きな畑、とても素敵でした。ランチメニュー、大満足でした。

遠心分離機による採蜜の様子

農場の豆や野菜を使用したランチメニュー

家族の一員としてダニエル君が仲間入り

Daniel Valerio　１７歳

ブラジル(サンパウロ)からのAFS留学生。10月10日から11月12日まで農場に滞在していました。車で25分ほどにある芽室高校に通

ギフトボックスが新登場。

とやま農場の加工品シリーズ（ポン菓子４種＆菜種油・蜂蜜）をお買い求めやすいギフトボックスにしました。加工品ギフトは、通年でのお届けが可能です。

ご自宅用に加え、お世話になった方へのお礼、お中元・お歳暮等にもご利用頂ければ幸いです。

詳しくはお気軽にお問い合わせください。

※写真はイメージです。

8/15～9/8　外山 裕子さん(中央)

9/13～19　友部 遼くん

9/25～26　大阪三島高校

9/28～29　大阪金岡高校

9～30～10/1　大阪吹田東高校

北海道
十勝とやま農場

SINCE 1917

ロゴが新しくなりました。

農場のできごと　～実習生＆修学旅行生受入れ～

今年は、以前に増して多くの方が農場に訪れ、農作業のご協力をいただきました。水産物の輸出入のお仕事をされていらっしゃるベトナム出身(根室市在住）のチャンさん（８月３～５日）に始まり、同姓というきっかけで群馬より来られた外山祐子さん。京都大学在学中で、滋賀県にご自信の実験圃場を持つ農学者見習いの友部遼君。インターネットで調べられたり、知人の紹介だったりと出会いのきっかけは様々ですが、豆類やビートの除草、スイートコーンやじゃが芋の収穫などのお手伝いをいただきました。

加えて、農村ホームステイとして、大阪の修学旅行生３校の受け入れをさせていただきました。滞在中の９月後半は例年ですと青空の下じゃが芋の収穫期真最中ですが、雨、雨、台風と重なり主に農舎の中で南瓜の選別作業を手伝っていただきました。また、ハロウインを使って、個性あふれる彫刻にもチャレンジしていただきました。

この取組みは、十勝管内の農林漁業者宅に宿泊し、第一次産業を体感してもらおうと３年前より始まりました。今春からは“NPO法人食の絆を育む会”が組織され、その活動の一環として十勝１６市町村の約４００世帯で、春と秋に約２，０００名の中高生が参加しました。
詳しくお知りになりたい方は、http://www.shokuhug.com/にアクセスしてみて下さい。

それぞれの道で　～兄弟のよこがお～

晶浩@イタリア

次男 剛士（調理師）は更なるステップアップを目指し、１２月より札幌から山形に移り、新たな環境で腕を磨きます。

三男 佳裕は主に被災地の土壌の研究協力をしていましたが、１０月から岩手大学大学院に進学しました。今後は土壌診断のプロを目指します。

四男 晶浩は８月からイタリア・ローマへ。１１月に一端帰国した後再度来年の６月頃まで滞在予定です。ローマでは日本人彫刻家加藤朝美氏の助手として、ブロンズ彫刻の制作に携わっています。詳しくはブログで。

◇すべての未知はローマから　http://toyama-shonen.blogspot.jp/

編集後記

昨年より入会している土壌の勉強会 SRU北海道の20周年行事として行われたニュージーランドツアー（２月５～１１日）に参加してきました。

会の指導者であるドクター川辺のガイドで、ワイヘケ、ロトルア、オークランド等の各地を巡り、圃場視察、農園レストランでの昼食、観光を楽しみました。

この勉強会の目的は、土壌診断の数値を基に科学的に土壌のバランスを整え、土壌の力を向上させることで無駄な化学肥料の投入を減らし、健康な農作物の生産と農業者自身の質的向上を目指しています。

始めたばかりですので、より健康的な土作りには年数が掛かりますが、なによりも全道の頼もしい先輩と交流し、農業だけでなく、生き方について語り励ましあえる機会を頂けた事は、再び農場で自然と向き合う勇気を与えてくれます。

たかよし

アルファルファの草地見学